

◇「ナゼスタイル」は長岡で頑張る企業・起業家を応援するフリーペーパーです。(奇数月25日発行)

NAAZE Style

Nagaoka Activation
Zone of Energy

vol.24
20110525

CONTENTS :

各部会役員からのメッセージ

会員企業紹介vol.6 = (株)難波製作所

デザインコラムvol.8

モノづくり企業訪問記vol.21 = (株)アサヒプレジジョン /

(株)NS・コンピュータサービス / 上越工業(株)

NAZE NEWS

FREE
0円

各部会役員からのメッセージ

今年度も交流部会・広報部会・技術部会は、毎月1回程度の部会を開催しています。各部会を代表して、メッセージをいただきました。



交流部会副会長
久保 誠

久保誠電気興業(株) 取締役副社長



広報部会副会長
山本 敦

(株)ネオス 代表取締役社長



技術部会部会長
桑原 美博

長岡電子(株) 代表取締役

最近思うことがある。日本人は行く末を悲観しすぎている。リーダーを批判しすぎている。だからしない、やらない、させないで何も変えることなく地団太を踏んでいる。

今必要なことは、過去に学び事実を見据え自信を持って、みんなで一步を踏み出すことだ。

サイモンとガーファンクルに「明日に架ける橋」という歌がある。歌詞の一部はこんな感じだ。

♪♪ 友が必要なとき 振り返ってごらん
いつも君の後ろにぼくがいる 逆巻く流れに架かる橋のように 君の心の支えになってあげるよ ♪♪

NAZEにはこの歌のように、仲間のために心の支えになる私やあなたがいる。

NAZEの会員は仲間なのだ。気安く力を借りればいいし、気軽に力を貸してあげればいい。

「出来っこない」と批判して止めさせるよりも、「きっと出来るから、やっていこうよ」と応援してあげる。「失敗したらどうしよう」と悲観して行動を起こさないよりも、「失敗してもやり直せばいい」と楽観してやってみる。「だめだ、やれない」と諦めるよりも、「駄目かもしれないが、やるだけやってみよう」と挑戦していく。

こんな仲間がたくさんいるNAZEなら、何かが変わり何かが生まれることは間違いない。

昨年度より広報部の副会長でお世話になっております。株式会社ネオスの山本と申します。

広報部会は、「積極的な情報発信でNAZEの認知を図る。」ことを目的に、今年度は以下の4事業への取組を進めてまいります。

1. WEBを活用したNAZEの認知向上を図るデジタル情報発信事業。
2. NAZEスタイルや事業報告ダイジェストなどのアナログ情報発信事業
3. 機械要素技術展などの各種展示会出展・販路開拓支援事業
4. 「豪技」の戦略的な広報を展開する「豪技」発信事業。

特に今年度は新しい「豪技」の認定のスタートの年となります。日本および世界に誇るNAZEの技術を「豪技」として認定し、広く認知してもらうために広報部会としては、さまざまな広報活動を通じて情報発信をしてまいりたいと思っております。

広報部会のメンバーはモノづくりに関連しない会員が多いですが、モノづくりに携わる会員の皆様のご協力とご支援をいただくことが一番重要と考えています。

今後ともNAZEの会員の皆様の発展のために、より成果のあがる情報発信をやってまいりますので、何卒よろしくお願いたします。

この2ヶ月間、連日テレビで流される映像を見るたびに、人間が作り続けてきたモノやコトは、圧倒的な自然の威力の前では存外脆いものだと改めて思い知らされた。

一方、世界的なシェアを持つ企業が彼の地にこれほど多く存在していたことも驚きである。これらが停止した途端、多くのメーカーがギブアップした事実は「モノづくり」が想像以上に複雑に連環していること、さらにその複雑さに見合う骨太さを持ち合わせないシステムで成り立っていることが明らかになり、愕然とすると同時に技術立国に？が点る。

安穩な他人まかせの環境に長く浸っていると現実に無批判になり易く、より高みを目指すメンテナンスやイノベーションを忘れさせる。それが衰退のスタートになるのであろうか、自戒すべきである。

さて、足元の技術部会に移る。昨年からは始めた環境対策事業第一弾は省電力で、自社の実態把握と改善点に目を向ける緒となった。

今年度は実例を基に会員各社に情報を提供できるようにしたい。将来的には省エネに関わるモノを作れたらと夢を見ている。NEXT道場は10人の塾生が集まった。うち3名は会員外企業からの参加である。U-50研究会と連携し相乗効果を出せるのが理想型と考える。

その他の事業を含め、何をやるにも頭数が少ないと意気が上らない。参加して声を出すのが何よりの活性化だ。

na-ZE 所属部会別会員名簿 (5.1現在) 現在76会員

◎部会長・○副部会長

交流部会会員

- ◎(株)丸栄機械製作所
- 柳 和久
- 久保誠電気興業(株)
- (株)アンドウ
- (株)イトラスト
- (株)池田機工
- (株)今井鉄工
- 越後工業(株)
- エヌ・エス・エス(株)
- (株)NS・コンピュータサービス
- (有)エムケイ技研
- (株)大菱計器製作所
- 小川コンベヤ(株)
- クリーン・テクノロジー(株)
- クリエイトエンジニアリング(株)
- (有)興和
- (株)小西鍍金
- (株)佐藤板金
- (株)システムスクエア
- (株)七里商店
- (株)シナダ
- 上越工業(株)
- (株)大光銀行
- (株)タカキ
- (株)トーエイ
- 長岡工業高等専門学校
- 長岡造形大学
- 長岡大学
- 長岡電子(株)
- (株)永島工機
- (株)中津山熱処理
- (株)ナノテム

- (株)難波製作所
- (株)広井工機
- (株)ホクギン経済研究所
- 北陽精工(株)
- (株)メティエ
- (有)毛利製作所
- ユニオンツール(株)長岡工場
- 高田孝次
- 西口郁三
- 村山健一

広報部会会員

- ◎(株)アルモ
- ◎(株)大原鉄工所
- (株)ネオス
- 飛鳥運輸(株)

- (株)アドテックエンジニアリング
- 久保誠電気興業(株)
- (株)七里商店
- (株)ソリマチ技研
- (株)第四銀行
- (株)たかの
- テラノ精工(株)
- 長岡大学
- (株)パートナーズプロジェクト
- (株)BSNアイネット長岡支社
- (株)FUCO
- (株)富士通新潟システムズ長岡事業所
- (株)ブラカード・ジャパン
- 古川機工(株)
- (株)ホクギン経済研究所
- マコー(株)
- (有)毛利製作所

技術部会会員

- ◎長岡電子(株)
- (株)オオイ
- (株)品川鑄造
- (株)浅田精機
- 旭精機(株)
- (株)アサヒプレジジョン
- (株)アンドウ
- (株)イトラスト
- エヌ・エス・エス(株)
- (株)N D C
- (株)大善
- (株)片山抜型製作所
- 久保誠電気興業(株)
- (有)小林超硬研磨
- (株)サカタ製作所
- (株)佐藤板金
- (株)鈴木精密工業所
- (株)タカキ
- (株)タカハシ
- 中越鑄物工業協同組合
- ナウエス精工(株)
- 長岡技術科学大学
- 長岡大学
- (株)難波製作所
- (株)林メッキ工業所
- (株)北越銀行
- (有)毛利製作所
- 吉井国際特許事務所
- 高田孝次
- 西口郁三

(部会重複有)

会員企業紹介 Vol.6

会員企業のPRページ。
第6回は「交流部会」・「技術部会」所属の(株)難波製作所から
アピールしていただきます。

溶接組立のエキスパート



株式会社 難波製作所



弊社は、筐体・架台の製作に必要とされるハイレベルな溶接技術を有しており、特に工作機械の安全保護カバーを得意としている会社です。

1972年の創業以来、企業として現在まで発展を続けることができたのは、新技術・新分野へのチャレンジと信頼できる従業員によるところが大きいと感じております。

熟練工による溶接技術に絶対の自信があります。

熟練工の高度な精密板金技術力と、24時間稼働のレーザ加工機やサーボベンダなど、充実の設備力を両立したフレキシブルな生産体制により、試作品や多種少量生産のニーズに特急対応しています。また、最先端のレーザ溶接機を導入し、新しい溶接技術の開発を行うことにより、溶接品質の向上に努めています。

こだわりの品質

お客様の満足する安定した品質水準を確保するために、工程内の品質作り込みを基本とし、受入から出荷まで徹底した品質管理に努めております。もちろん塗装前の中間監査などのご要望にもお応えしております。コンマ台の薄板から、20t程度の厚板まで対応。角パイプ・アングルなどの加工やブラケット類、レーザ加工品(切断品)にもお応えしております。信頼の技術をぜひお試しください！

日々チャレンジ

各セクションで自主的な改善活動を行い、活発な意見交換やアイデアの具現化が積み重ねられています。

新しい技術の開発に全員でチャレンジし、より品質の高い製品を納入します。



〒940-2053
長岡市福道町字前田804
代表取締役 難波 博
TEL 0258-27-5161
FAX 0258-29-2326
URL <http://www.nanba-ss.co.jp>
E-mail seizou@nanba-ss.co.jp

デザインコラム Vol.8

NAZE ID コーディネーター
松丸 武

モノに「感性価値」要素を！

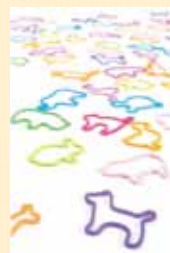
2007年、経済産業省は「感性価値創造イニシアティブ」(*参考)を提言した。

そこでは、『日本企業が将来にわたって競争力を維持・強化していくためには、研究開発や設備への活発な投資によりイノベーションを進め、常に一步先の領域を拓けていく、また差別化を図っていくことが不可欠である。』『生活者が満足して対価を払う「いい商品、いいサービス」とは、高機能性、高信頼性、合理的価格といった価値を超えて、生活者の感性に働きかけ、その感動や共感呼び起こすものであることが分かる。生活者の感性に働きかけその共感を得ることによって初めて顕在化する』として「感性価値」を提案している。

『「感性価値を持った、いい商品、いいサービス」とは、①素材など見えないところまでに及ぶ「こだわり」、ものに込めた「趣向」、「遊び」、「美意識」、新しい使い方やライフスタイルを提案する「コンセプト」、場合によっては「企業の価値観そのもの」が、②技術、デザイン、信頼、機能、コスト等によって裏打ちされ、③ストーリーやメッセージを持ったものとして可視化され(もの語り)、④これが、生活者に、驚き、わくわく感、どきどき感、爽快感、充足感、信頼感、納得感、安らぎ、癒しなど「感動」や「共感」をもって受け止められることによって成立するものである』という。

詳しい説明はまだ続くが、そこでは具体例も挙げているので、その一部を参考までに……。

このような時を迎え、さて長岡産業・NAZEが考えていくことは？少しずつでも考えていきましょう。



①



②



③

- ① 捨てたくない愛らしい輪ゴム『アニマルラバーバンド』
=遊び心の溢れるデザインが生活者の心を捉え、日々の生活に「驚き」と「癒し」を運ぶ。
- ② 伝統的な会津塗の技法と新しいデザインとの融合『BITOWA』
=沈金や高蒔絵などの400年の歴史を持つ伝統的技法が斬新なデザインと融合し、現代生活に合う伝統的工芸品という新しい風を巻き起こす。
- ③ 「引き算のもの作り」により世界の生活者を魅了する『WORLD MUJI』
=「無駄を削ぎ落とし、製品の個性の演出を生活者に委ねること」をデザイン哲学とし、「引き算のもの作り」により、世界の生活者を魅了する。

<写真・キャプションはそのホームページより引用>

[*: <http://www.meti.go.jp/press/20070522001/kansei-honbun.pdf>]

APC 株式会社 アサヒプレジジョン

〒949-5411 長岡市来迎寺 1750-1
TEL 0258-92-6440 FAX 0258-92-6443
URL : <http://asahi-precision.co.jp> E-mail : apc@bd.wakwak.com



株式会社アサヒプレジジョン(以下、同社)は、創業が2001年(平成13年)6月で、10年の節目を迎えた精密加工を得意とする企業である。同社は創業当初から試作ビジネスという形で小ロット多品種の部品製造を行っている。例えば肉厚が薄いところで2mmほどになる放送局で使われるカメラの重要部品をほとんど歪ませることなく加工した製品、角度の異なる穴が丸棒の内部で段差なく繋がる加工といった、加工しようとする変形してしまうような製品をはじめ、加工が非常に困難な製品・部品を主に製造している。さらに、創業して間もなく横浜に営業所を設けるなど、同社は、大手ユーザーの試作ニーズを開拓する体制を整えた。

今回、同社の工場を見学させていただいたのだが、工場に入り最初に目に飛び込んできたのは所狭しと並んだマシニングセンターやターニングセンターといった工作機である。決して狭くはない工場ではあるが、それを埋め尽くすような工作機の数に驚かされた。更に、工作機の数が多いものの従業員はそれほど居らず、殆どが入れられた工程通りに自動で動いており、1台ごとに1人が付きっきりでないことにも驚かされた。しかし、多くの製品は人の手を使い精密かつ正確に仕上げが行なわれ、また、出来上がった製品の検査も人が1つ1つ行なっていた。技術者の持つ高い技能無しには同社の高精度な製品は作れないということを知ることができた。

工場見学の後、質疑応答の中で「これが

らの10年間はどうか、どうするか」という質問があった。種岡社長は「これまでの10年間は人材や技術をベースとして取引先や銀行その他の信用を得てきた。今後それは変わらないだろう。」と答えられた。同社は従業員を非常に大切にしており、それを証明するように工場見学の際にお会いした同社の従業員の方たちはとても明るく、仕事に誇りを持っているように感じた。

また、諸外国の技術レベルの向上と需要の増加に伴い、日本の製造業は危機に立たされているという話もされた。これについて同社は、大量生産による価格競争ではなく日本の高い技術力を活かした新しい技術、新しい製品によって新しい競争力を生み出すこと、そして住み分けが大切であると考えているとのことだ。

今回の工場見学では技術的な面もさることながら日本の製造業の現状なども学ばせていただいた。今後、就職活動を始めるときには、企業の技術力や雰囲気などを工場見学等で実際に見ることも重要だと感じた。今回の工場見学では多くのことを学ぶことができ、非常に有意義なものであったと思う。

長岡技術科学大学
機械創造工学専攻
1年 渡邊 翔

NSCS 株式会社 NS・

〒940-0045 長岡市金房 3-3-2
TEL 0258-37-1320 FAX 0258-37-0488
URL : <http://nscs.jp> E-mail : somu@nscs.jp



株式会社NS・コンピュータサービス(以下、同社)を訪問した。当日は事業紹介が主となり、セキュリティ対策のため、開発室などの見学はできなかった。

同社は、自動車・オートバイなどのメータや表示器を扱う株式会社日本精機のグループ企業で、主にシステムソリューション、Internet Data Center(以下、IDC)、組み込みシステム開発の3つの事業を柱としている。日本精機だけではなく、大手自動車メーカーや公共機関などにも直接製品を提供している特徴がある。

システムソリューション事業は、製造、流通、公共の、基幹システムをはじめとしたシステム開発を行うことである。基幹システムの例としては、ある企業の給与、会計、在庫管理を行うシステムがある。こういったシステムは、日常生活ではなかなか気づきにくいものだが、お店で気軽にものが手に入るのはこういったシステムの恩恵にあずかっているためであると実感できた。

IDC事業は、企業や機関のデータを保管したりサーバを提供したりするものだ。同社は長岡市内にデータセンタを保有し、セキュリティ対策はもちろん、地震などの災害時においてもダウンすることが無いように、発電機の設定やインターネット回線の冗長化などの対策が施されている。データセンタ設立のわずか数ヶ月後に中越地震に遭い、市内も停電などがあったが、データセンタはダウンすることなく稼働し注目を浴びた。



取材 長岡技術科学大学

情報・制御工学専攻

3年 安孫子紘市

機械創造工学専攻

1年 渡邊 翔 寺崎良太

コンピュータサービス

上越工業 株式会社

〒949-5212 長岡市小国町桐沢 55-1

TEL 0258-95-4111 FAX 0258-95-3641

URL : <http://www.gohsyu.co.jp/~jyouetsu/> E-mail : n.motoi.jkg@gohsyu.co.jp



組み込み事業は、自動車メータや無線通信機器を用いた装置などの「組み込みシステム」と総称されるシステムの開発を行っている。こういった組み込みシステムの開発にはソフト、ハード、回路設計など非常に幅広い技術が必要とされるため、開発現場では技術者がとても不足しているという実情をお伺いした。私が所属する研究室でもマイコンを使ったシステム開発を進めており、なかなか上手いかわず苦労する姿は容易に想像できた。

解説後の質疑においては、同社が求める人物像についていくつか質問があった。必要な情報は自分でとりに行く『自律(自立)型人材』が求められている。また、多くの学生が気にしているであろう英語力については、海外展開を積極的に行っていること、データシートが英語での記述が多いことなどから、相応の語学力を必要とされている。これに対し、同社では、週1回の英語のネイティブスピーカーによる語学研修を実施し、TOEICハイレベルスコア者に対する報奨金制度を設けるなど、積極的に語学スキルアップに取り組まれている。

今回の見学会においては、同社のように目に見えないモノであるシステムを主に作っている企業も、生活には欠かせない「モノづくり企業」であることを強く認識できた。

長岡技術科学大学
情報・制御工学専攻
3年 安孫子紘市

上越工業株式会社(以下、同社)は(株)コーシューの子会社として昭和51年に創立された。主な事業内容として、自動車部品・二輪車部品・農機具部品を中心とした鍛造品の製造を行っている。同社の製品の例として、エンジンのコンロッド、タイミングチェーンなどが挙げられ、これらの製品は日常生活に欠かせないものであり、同社が社会に大きく貢献していることが伺える。

工場の敷地はとても広く、その敷地面積は東京ドームよりも広い。説明によると、これは工場から発生する騒音に対し、同社が近隣住民に配慮したものであるとのことである。工場から離れた施設にて説明を受けているときにも、時々『カーン、カーン』という高い音と揺れが来ることからその必要性は容易に理解できた。

工場見学の際にはヘルメットと防護メガネの他に、耳栓を渡された。工場の中ではこれが必須であり、外さないで欲しい、とのことだった。工場の中に入ると、そこは一般的に考えられるような工場とはまったく違い、真っ赤に熱された金属の棒を大型のハンマーが叩く轟音と振動が響くという、まるで別世界であった。製品は型鍛造によって作られており、作業者は金属の棒を型にセットしてハンマーを動かしていた。

ハンマーによる形成の後、バリ取りをされた製品は熱処理されるが、以前は熱処理も同社が行っていたが、今は外注に出しているとのことだった。工場内の設備も時代や状況に対応していく必要があるそうだ。全ての工程が完了した製品は全数検査が実

施され、必要に応じて傷の確認の為に磁気探傷検査が行われる。

工場を抜けて別の施設に入ると、様々な鍛造品が並んでいた。同社では定期的に良品と不良品を見分ける能力の試験を行っていて、それらはその試験に用いるものであった。実際に手にとって眺めてみたが、どれが良品でどれが不良品か、一目ではまったくわからなかった。チェックをする人間の教育も欠かさないという、同社の品質に対する姿勢がうかがえる。

同社は機械部品だけではなく、建築の分野にも貢献していることがわかった。建物地震対策の最先端工法である「トグル制震構法」の開発に参加、部品の製造も行っているという。今ある分野だけに満足して留まらず、新たな分野に進んでいくという同社の姿勢は、技術者を目指す自分に大きな衝撃を与えた。この仕事はいわゆる3Kである、との説明を受けたが、従業員の方々は自分たちの仕事に誇りを持っているように感じられ、この誇りが私たちの日常を支えているのだと感じた。

長岡技術科学大学
機械創造工学専攻
1年 寺崎良太

清川メッキ工業(株)・(株)松浦機械製作所見学会を実施

3月10日～11日に、福井県の先端企業2社の工場見学会を実施。(参加者は、13名)日本から「できない」を無くすことが夢という、ナノメッキ企業と、品質・環境など国際基準を推進し、独自の技術開発・グローバル経営を展開する企業と、大変有意義な工場見学会となりました。

最初に、携帯電話電極めっき国内トップシェアの清川メッキ工業(株)を見学。清川専務から、創業当時の大物(長くて重量ある物)中心から、半導体への新分野参入、現在、電子顕微鏡でないと見えないナノ世界のメッキの時代に。産学官共同開発をはじめ、お客からの依頼に出来ないとは言わないという挑戦が、新技術を確立したなどのお話をお聞きし、参加者一同チャレンジ精神に驚嘆いたしました。

高速加工マシニングセンタのバイオニア(株)松浦機械製作所では、「マツウラ」独自の開発による高品質5軸制御マシニングセンタなどを、北米を中心に約7割を海外にある30カ国の代理店を通じ販売し、グローバルビジネスを展開。工場の海外進出による国内の空洞化が叫ばれる中、「マツウラ」では品質保持の観点から福井で生産し輸出。世界的な企業の現場をつぶさに見学することが出来ました。



学生のための企業見学会 開催

3月7日、長岡技術科学大学、長岡大学、長岡高専の学生合わせて30名が、高度な技術力を持っているNAZE会員企業の(株)アサヒプレジジョン、(株)NS・コンピュータサービス、上越工業(株)の3社(4～5P参照)を見学しました。

自社の事業概要の説明や開発するにあたって抱えている問題点など各社の取り組みを話していただいたほか、モノづくりには時間がかかり、技術向上には常に勉強することの大切さ、企業の必要としている人材や“働く”ということはどういうことか、人とのつながりの大切さなど学生が人として、職業人となっていくであろうことに対して必要なことをご教示いただきました。

3社の見学会終了後は、旧越路町の天井の美味しいお店でさらに企業の方と交流を深める夕食会をおこないました。

後日、学生から回答していただいたアンケートでは、「非常に興味深い話が聞けて良かった。」「作業現場も見学でき、巧みな技術に関心を持った。鍛造は迫力が凄かった。」など感想をいただきました。学生がモノづくりの価値を身近に感じ、長岡の優れた技術を認識する意義ある見学会です。今後も継続していきたいと思っておりますので学生の皆さんの積極的な参加、企業の皆様のご協力を宜しくお願いします。



「豪技」ロゴマーク決定!

豪技のリニューアルに伴い、ロゴマークを一新しました。

インパクトのある墨字は従来どおりそのまま残しながら、新たにローマ字表記「GOUGI」を加えました。今後もNAZEのシンボルマークとして、豪技認定証やホームページ等で活用していく予定です。

平成22年度「豪技」認定企業は、第1回総会で発表。6月22日～24日に東京ビッグサイトで開催される「第15回 機械要素技術展 (M-Tech)」の「長岡モノづくりゾーン」(小間番号39-22)にNAZE会員企業と共同出展し、長岡の秀でた技術・製品を全国に向けてアピールします。



NAZEでは新会員を募集しています!

NAZEの活動を通じ、「もっと地域を良くして行こう」「何か行動して行きたい」「意欲的な仲間と出会いたい」という方は、是非、NAZEにご参加ください。一緒に活動して行きましょう!

会員特典

- 一企業では対応しきれない課題について、会員企業や各支援機関が連携して解決に取り組みます。
- 各種事業・行事に参加することにより、多方面へ人脈が広がります。
- ホームページや広報誌へ企業情報を公開することにより、技術力の高さや地域貢献度の高い企業としての知名度が向上します。

■入会手続は簡単です!

事務局にご連絡をいただければ、入会申込書を持参して詳しいご説明をいたします。お気軽にお問合せください。

■年会費

法人会員：120,000円
個人会員：36,000円

今号の表紙



キサゲ・ラップ加工
(株)大菱計器製作所
写真/柴木広報部長

長岡で頑張る企業、起業家を応援します!

NAZE

くわしくは → <http://www.naze.biz/>

Nagaoka Activation Zone of Energy
NPO 法人 長岡産業活性化協会 NAZE

●記事内容についての感想をお待ちしています!

〒940-2127 新潟県長岡市新産4丁目1番地9 NICO テクノプラザ内 NAZE 事務局
TEL: 0258-42-8700 FAX: 0258-42-8701 E-mail: info@naze.biz